令和８年度
農作物病害虫発生予察10月月報

令和８年(2026年)11月２日
山口県病害虫防除所

Ⅰ 気象概況

アメダス山口県防府地点

月・半旬	気温 (℃) 平均 本年	平均 平年	平均 平年差	最高 本年	最高 平年	最高 平年差	最低 本年	最低 平年	最低 平年差
10.1	20.8	20.8	0.0	27.0	25.7	1.3	16.2	16.4	△ 0.2
10.2	20.4	19.9	0.5	26.9	25.0	1.9	14.8	15.4	△ 0.6
10.3	20.9	18.9	2.0	26.2	24.2	2.0	15.8	14.2	1.6
10.4	21.4	17.8	3.6	26.2	23.2	3.0	16.9	13.0	3.9
10.5	20.3	16.8	3.5	24.8	22.1	2.7	16.2	11.9	4.3
10.6	17.2	15.6	1.6	22.3	21.0	1.3	12.1	10.7	1.4
平均・計	20.2	18.3	1.9	25.6	23.5	2.0	15.3	13.6	1.7

月・半旬	降水量(mm) 本年	降水量(mm) 平年	降水量(mm) 平年差	日照時間(h) 本年	日照時間(h) 平年	日照時間(h) 平年差
10.1	12.0	21.5	△ 9.5	36.6	27.6	9.0
10.2	0.0	15.2	△ 15.2	46.6	28.4	18.2
10.3	2.0	13.4	△ 11.4	40.3	29.8	10.5
10.4	0.0	15.4	△ 15.4	23.9	30.7	△ 6.8
10.5	31.0	15.0	16.0	9.9	30.3	△ 20.4
10.6	37.0	14.7	22.3	31.4	35.3	△ 3.9
平均・計	82.0	95.2	△ 13.2	188.7	182.1	6.6

Ⅱ 作物の生育状況

(1)カンキツ　：果実肥大は平年並～やや大きく推移している。糖度は概ね平年並～やや高く、酸度は平年並～やや低く推移している。

(2)キャベツ　：定植前後の少雨で生育が停滞したほ場もあったが、中耕・追肥や潅水等の管理により回復し順調に生育している。収穫開始時期は例年より早めとなる見込み。

(3)イチゴ　：「かおり野」については、順調に活着し生育は順調に進んでいる。花芽分化は過去５年で一番早かったが、不時出蕾が多かったことから、出荷開始は平年並となる見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2026年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数:18) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.4%(平年94.2%)、発病果率48.6%(平年38.8%)、発病度16.4(平年9.8)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 多 中 少 計	52 52 52 732 888
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1%(平年9.4%)、発病果率2.6%(平年1.2%)、発病度1.0(平年0.5)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	52 52 104
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6%(平年2.1%)、被害果率0.1%(平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	52
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2%(平年25.5%)、寄生果率2.3%(平年1.6%)で平年並であった。	県内全域	多 中 少 計	52 52 105 209
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1%(平年11.3%)、被害果率0.1%(平年0.3%)、被害度1.0(平年0.1)で平年並であった。	県内全域	少	105
ミカンハダニ (調査ほ場数:19)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8%(平年17.3%)、寄生葉率7.8%(平年2.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 中 少 計	52 52 262 366
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3%(平年1.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	52
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平年4.3%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	105
ミカンバエ (調査ほ場数:13)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.0%)で平年並であった。	―	―	
果樹全般 カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	9月26日～10月25日の予察灯(県内３か所)の誘殺数は184頭(平年198頭)で平年並であった。主要種はツヤアオカメムシであった。	県内全域	―	

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ (調査ほ場数:12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.9%)、発病株率0%(平年0.0%)、発病度0(平年0.0)で平年並であった。	―	―

2026年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では､発生は認められず平年並であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.8%)、発病株率0%(平年0.0%)、発病度0(平年0.0)で平年並であった。	―	―
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並であった。	―	―
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では､発生ほ場率83.3%(平年72.7%)、寄生株率10.2%(平年9.2%)で平年並であった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率91.7%(平年65.0%)、寄生株率9.5%(平年8.4%)で平年並であった。	県内全域	多 40 中 54 少 54 計 148
コナガ	中旬の巡回調査では､発生ほ場率8.3%(平年28.2%)、10 株当たり虫数0.1頭(平年0.1頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率33.3%(平年26.7%)、10株当たり虫数0.1頭(平年0.2頭)で平年並であった。	県内全域	少 54
オオタバコガ	中旬の巡回調査では､発生ほ場率66.7%(平年30.9%)、寄生株率4.8%(平年1.8%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率66.7%(平年30.0%)、寄生株率5.0%(平年1.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 13 中 40 少 54 計 107
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平年25.5%)、寄生株率3.5%(平年1.8%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率41.7%(平年30.0%)、寄生株率5.2%(平年1.6%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 13 中 13 少 54 計 80
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では､発生ほ場率25.0%(平年11.4%)、10 株当たり虫数0.1 頭(平年0.1 頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率16.7%(平年10.8%)、10株当たり虫数0.1頭(平年0.0頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 40
ヨトウガ	中旬の巡回調査では､発生ほ場率16.7%(平年4.4%)、寄生株率1.0%(平年0.2%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では､発生ほ場率8.3%(平年6.7%)、寄生株率0.2%(平年0.2%)で平年並であった。	県内全域	中 13 少 13 計 26

2026年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
キャベツ シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平年26.9%)、寄生株率9.0%(平年2.4%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7%(平年23.3%)、寄生株率2.3%(平年2.1%)で平年並であった。	県内全域	甚 多 中 少 計	13 13 40 40 106
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%(平年5.0%)、被害株率0.7%(平年0.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	13
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平年37.8%)、寄生株率0.3%(平年1.4%)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%(平年31.7%)、寄生株率0.2%(平年1.9%)で平年に比べやや少なかった。 主要種はモモアカアブラムシであった。	県内全域	少	27
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平年9.5%)、発病株率0.4%(平年2.0%)、発病葉率0.2%(平年1.1%)で平年並であった。	県内全域	少	10
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平年6.6%)、発病株率0.1%(平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	14
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年6.0%) 、発病株率0%(平年0.1%)で平年に比べ少なかった。	ー	ー	
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平年27.5%)、寄生株率1.3%(平年5.9%)で平年に比べやや少なかった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	19
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0%(平年18.1%)、寄生株率2.6%(平年0.8%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 中 少 計	5 19 5 29
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.5%)、寄生株率0%(平年0.1%)で平年並であった。	ー	ー	
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並であった。	ー	ー	
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年22.6%)、寄生株率0%(平年7.6%)で平年に比べ少なかった。	ー	ー	

<table>
<tr><th>病害虫名</th><th>発生状況</th><th>発生地域</th><th>発生面積(ha)</th></tr>
<tr><td>イチゴ
コナジラミ類</td><td>下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平年9.9%)、寄生株率0.4%(平年1.1%)で平年並であった。
主要種はタバココナジラミであった。</td><td>県内全域</td><td>少 10</td></tr>
<tr><td>アザミウマ類
(調査ほ場数：7)</td><td>下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4%(平年19.1%)、寄生花率11.6%(平年1.6%)で平年に比べ多かった。
主要種はヒラズハナアザミウマであった。</td><td>県内全域</td><td>甚 14
中 5
少 5
計 24</td></tr>
<tr><td>野菜、花き類
アブラムシ類</td><td>10月の黄色水盤トラップ(防府市牟礼)の誘殺数は129頭(前年51頭)であった。</td><td>県内全域</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ハスモンヨトウ</td><td>10月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は5,752頭(前年8,894頭)であった。
９月21日～10月20日のフェロモントラップ(県内５か所)の誘殺数は、9,759頭(平年8,271頭)で平年に比べやや多かった。
フェロモントラップでの誘殺数（頭）
<table><tr><th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr><tr><td>周南市熊毛</td><td>3,296</td><td>3,101</td></tr><tr><td>山口市阿東</td><td>790</td><td>662</td></tr><tr><td>萩市明木</td><td>154</td><td>282</td></tr><tr><td>下関市清末</td><td>3,122</td><td>2,243</td></tr><tr><td>柳井市伊陸</td><td>2,397</td><td>1,983</td></tr></table>※9月21日～10月20日の合計</td><td>県内全域</td><td>－</td></tr>
<tr><td>オオタバコガ</td><td>10月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭（前年1頭）であった。</td><td>県内全域</td><td>－</td></tr>
<tr><td>シロイチモジヨトウ</td><td>10月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は876頭(前年737頭)であった。</td><td>県内全域</td><td>－</td></tr>
<tr><td>コナガ</td><td>10月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は7頭(前年2頭)であった。</td><td>県内全域</td><td>－</td></tr>
</table>

お問い合わせ先
山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)
TEL (0835)28－1211(代)
FAX (0835)38－4155
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp